

教科・科目	対象学年	単位数	教科書	使用教材
芸術・美術 I	1 年	2	美術 I（三村図書）	なし
科目の概要と目標	(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。 (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。			
題材及び単元	学習内容	到達度目標		
身近なものを描く	表現・鑑賞 絵画	(1) 意図に応じて鉛筆や練りゴムなど用具の特性を生かすとともに、より効果的な表現方法を創意工夫して描く。 (2) 対象をしっかりと観察し、形体や立体感、構図などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (3) デッサンにおける鉛筆の使い方や形の捉え方などを意識し、創造活動に取り組もうとする。		
あかりのデザイン	表現・鑑賞 デザイン	(1) 形や材料、色などの性質及びそれらが感情にもたらす効果などを理解する。 (2) 素材による光と影の効果を生かし、自分の主題を決め演出の構想を練る。 (3) 主題のイメージを大切に、素材の特徴を踏まえて工夫しながら制作する。作品を点灯し、それぞれの演出の意図やよさを味わう。		
立体表現の魅力	表現・鑑賞 彫刻	(1) 粘土の特性や立体表現に関する知識を生かすとともに、主題を追求して創造的に表す。 (2) 自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 (3) 大きさや重心などのバランス、光と影の広がりなどを意識して、主体的に創造活動に取り組もうとする。		
繋がる模様	表現・鑑賞 デザイン	(1) 日本や諸外国の模様鑑賞し、表現の工夫や生活との関わりを感じ取ろうとする。 (2) 形や色の特徴や美しさ、用いる場面などを基に、形や色彩の構成などの効果を考え、模様の構想を練る。 (3) 模様の良さや面白さを味わい、主体的に創造活動に取り組もうとする。		
心情を描く 自分を見つめて	表現・鑑賞 絵画	(1) 油絵具や用具の特性を生かすとともに、タッチやマチエールなどを創意工夫しながら、主題を追求して創造的に表す。 (2) 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (3) 主体的に自己を見つめ感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の創造活動に取り組もうとする。		